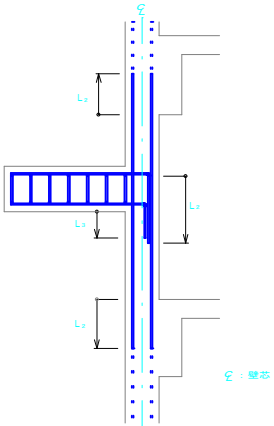


4. 1 7 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
- (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。

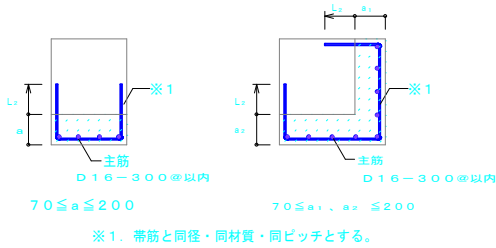


4. 1 7. 1 図 片持スラブ形階段配筋の定着

4. 1 8 柱及び梁の増し打ち要領

4. 1 8. 1 柱

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1 8. 1 図による。
- ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。

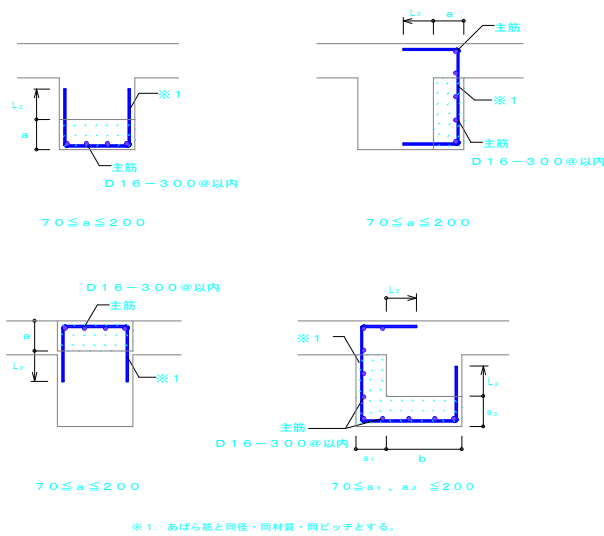


4. 1 8. 1 図 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 $L_2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

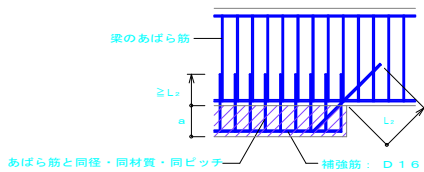
4. 1 8. 2 梁

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1 8. 2 図による。ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。



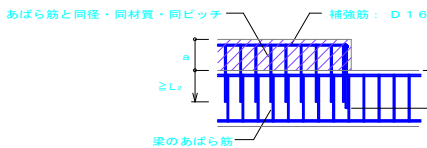
4. 1 8. 2 図 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 $L_2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



4. 1 8. 3 図 梁の上下の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

- (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合

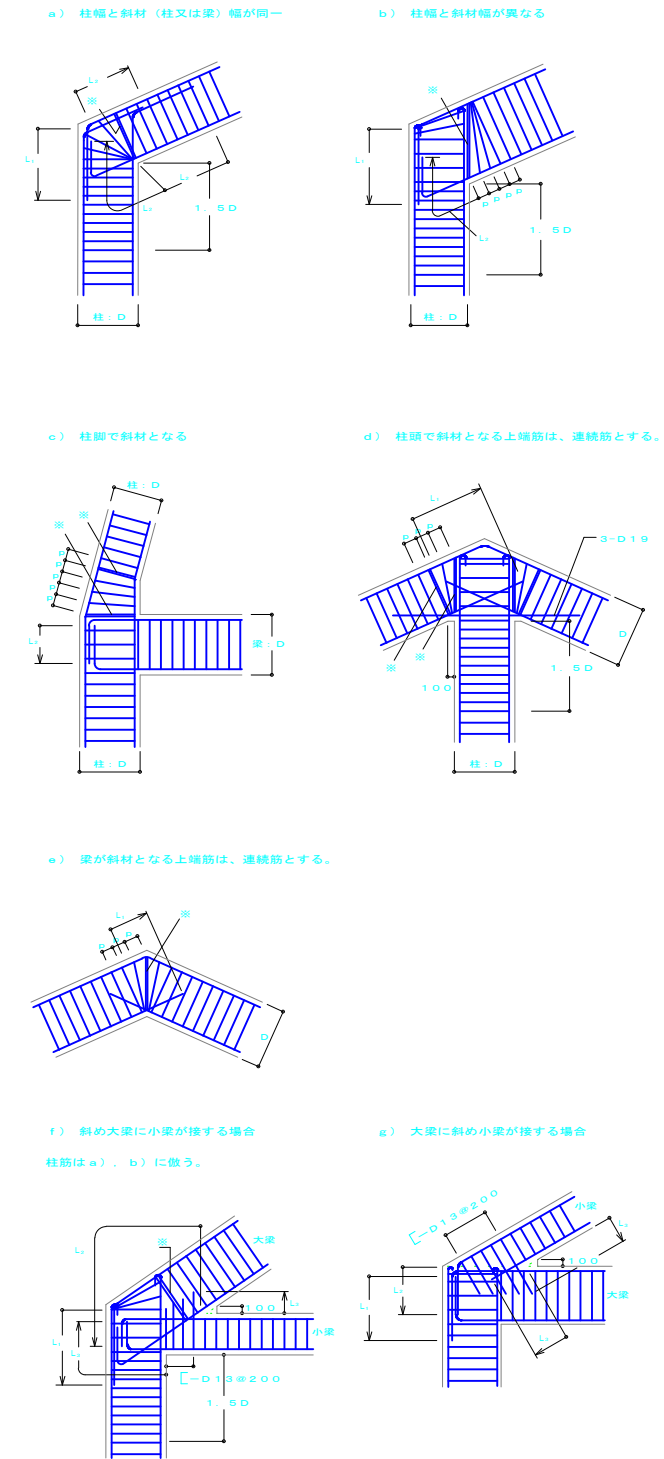


4. 1 8. 4 図 梁の側面の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

4. 1 9 勾配屋根の取り合い

4. 1 9. 1 斜め柱・斜め梁の取り合い

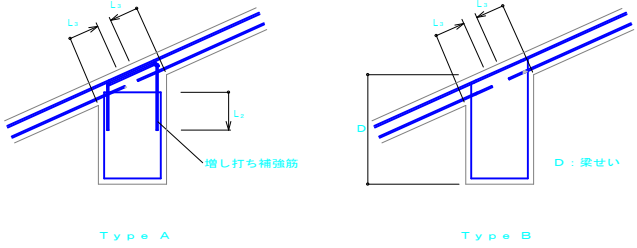
- (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
- (2) 1. 5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし $\phi 100$ 以下とする。
- (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔 $p$ 以下とする。



4. 1 9. 1 図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

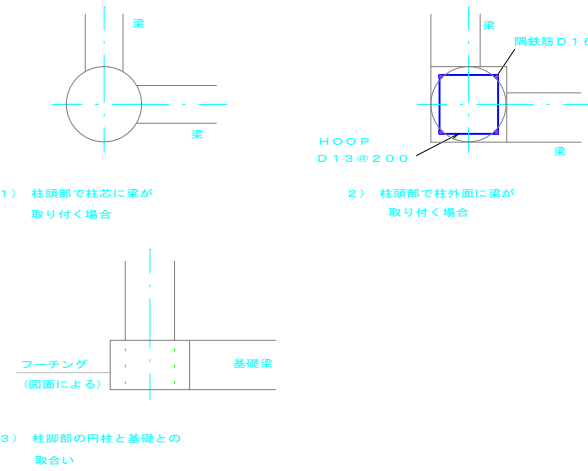
4. 1 9. 2 梁と床版の取り合い

- 増し打ち補強要領は、4. 1 9. 2 図による。



4. 1 9. 2 図 梁と床版の取り合い配筋

4. 1 9. 3 円柱の取り合い



4. 1 9. 3 図 円柱の取り合い配筋

事業名		南魚沼市上水道事業					
工事名		令和2年度 改良第7号 上田配水池建設工事					
施工地名		南魚沼市 蟹沢新田 地内					
構造細目共通図 (複合構造体) (12)				縮尺		図示	
図面番号		工期	着手日		令和	年	月 日
第56/61号			竣工日		令和	年	月 日
発注者	南 魚 沼 市 長		監督員	総括 水道課 上村 栄二 主任 水道課 上村 優			
請負者			(配管)				